

海辺のカフカ

時間的に空間的に、あるいは実際にまたはメタファー的に
存在するということ流れること... そんな小説... なのか？
ただ、自分が今あまりにも機械的に、そして
想像力を欠いた日常を過ごしてしまっていることの恐怖を感じさせられる。